

[入力例③]

制振タイプ（変断面型）のアンボンドブレースに対して、剛性倍率を 1.60 として剛性を計算する場合の入力例。

鉄骨ブレース部材形状登録（メーカー製品）

[最終No. 301 , 登録数 1 , max 399]

No.	タイプ	種類	製品登録No	単位重量
301	1	2	1	0
302				

[N/m<sup>2</sup>]

【単位重量】  
壁パネルなど壁材の単位面積あたりの重量を入力します。  
 正值または0：ブレース重量を含まない重量  
 （ブレース重量は自動計算します）  
 負値：ブレース重量を含めた重量

計算条件(U)

座屈長さの低減距離 0.000 [m]

制振タイプの芯材

<1>変断面型としない  
 <2>変断面型とする <剛性倍率は平板型：1.74、十字型：1.40とする>  
 <3>変断面型とする <剛性倍率は1.0とする>

1. [6.4.2 メーカー製品]において、[制振タイプの芯材]を“<3>変断面型とする（剛性倍率は1.0とする）”とします。

2. [10.2.3 ブレース]において、制振タイプ（変断面型）のアンボンドブレースに対して、剛度増大率  $\phi A$  を 1.60 と入力します。

剛度増大率 ブレース

[最終No. 1 , 登録数 1 , max 20]

No.	階	階	ルーム	ルーム	軸	軸	/--- $\phi A$ ---/	
							右上り	右下り
1	1	1	1	1	101	102	1.600	1.600

鉛直・水平の別途指定(A)

しない  
 する

※  $\phi A$ の値が0の時は、剛性を0とします。